



JAゆうべつ町

# JAゆうべつ町広報誌



KAGAYAKU TSUBASA

# 輝く翼

湧別町の空に飛ぶ白鳥を見た時、私は素敵だと感動しました。「JA ゆうべつ町」が飛躍する事を願い、群れをつくり大空に羽ばたく真っ白な白鳥の様に、気持ちを新たに一致団結して前へ大きく前進する願いを込めてデザインのイメージをしました。そして皆さんが愛読するにあたって、優しく温かい気持ちになれる様にと虹の橋を架けました。先頭を飛ぶ真ん中の白鳥にはリーダーと言う意味があり、冠を付けてみました。

## 謹賀新年



今年もよろしくお願ひ致します。  
(佐呂間市場にて撮影)

2024.1 vol. 220

令和6年

# 新年にあたり

湧別町農業協同組合

代表理事組合長 上田 範幸



新年あけましておめでとうござい  
ます。組合員の皆様はじめ、ご  
家族の皆様には、令和6年の新春  
を迎え、謹んでお慶び申し上げま  
す。

昨年を振り返りますと、世界中  
の経済に大きく影響をもたらした  
コロナ禍が、5月に新型コロナウイルス  
の感染症法の位置づけが5  
類に引き下げられ一段落となり経  
済もコロナ禍以前に戻りつつあり  
ます。

令和4年度より乳価が上がり傾  
向にあります。それ以上に、ウフ  
ライナ侵攻や円安により、飼料を  
はじめ肥料・燃油価格・電気料等  
の生産資材等の値上がりにより農  
家経営を圧迫した年でもありまし  
た。

また、今までに経験したことが  
ない夏の猛暑が長期にわたり、生  
乳生産の減少・農産物の品質低下  
や減少等が発生しました。この様  
な状況下で、食料生産の不安定さ  
及び農業従事者の減少傾向を踏ま  
え、食料の安全保障を確保するた  
めに、令和6年度において、「食  
料安定供給基本政策等・農業・農  
村基本法」改正について、「食料  
安定供給」や「みどりの食料シス  
テム戦略等」の農業基本政策、輸  
出拡大の適正な価格形成等の食料  
産業政策及び甘味資源・酪農畜産  
対策が具体的に政府でも対応する  
こととなっている状況です。

当農協における全般的な生産状  
況は、猛暑の影響による生乳生産  
の大きな落ち込み、てん菜の異常  
とも思える低糖分となりました。

粗飼料については、一番草は、天  
候に恵まれ良質な粗飼料を収穫す  
ることができましたが、2番草は  
雨天、デントコーンは異常な天候  
による生育が進み過ぎ品質等にば  
らつきが見られました。しかし、  
異常な猛暑ではありませんが、大  
きな自然災害も少なかった年とな  
りました。

酪農については、令和3年度よ

り生乳生産抑制が始まり組合員の  
皆様にご協力頂き進めている中、  
諸事情によりここ2年間で12戸が  
搾乳を中止されたこと、また猛暑  
の長期化と令和4年産グラスサイ  
レージの品質等により、農協の生  
乳生産目標数量を大きく下回る状  
況となりました。

しかし、国内の酪農事情は、脱  
脂粉乳等の在庫削減による生乳生  
産抑制を緩和するため乳製品消費  
拡大を進めている中、農協・(株)A  
コープゆうべつとして、全町民へ  
牛乳券、バター配布、イベントで  
の乳製品の販売、スタンドでは牛  
乳配布等を行って参りました。

今後、生乳生産の動向をみなが  
ら、補助事業を活用し、組合員様  
と協議しながら計画的な生乳の増  
産を進めてまいります。

新規就農においても積極的に町  
の協力を得ながら進めて参ります。  
令和5年度において1件の受入し、  
令和6年度にも1件の就農予定と  
して町内で研修中です。

また、家族の傷病等でこれ以上  
の営農中止を阻止するためにも、  
酪農ヘルパーの利用者のニーズに  
応えながら農協として対応して参  
ります。

# 謹賀新年

湧別町農業協同組合

代表理事組合長

副組合長

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

上田 範幸

佐藤 茂

菊地 厚

柴田 勉

多田 智弘

岳上 智

加藤 勇

栗田 淳

小幡 敏

服部 智紀

加藤 誠一

北谷 昭一

辻 香澄

職員 一同

長岡みどり

羽田 由希

加藤 庸加

石田 恭兵

北谷 隼人

松本 和紀

植田 光

三澤 実

山田 和弘

農産については、令和5年度より経営所得安定対策（ゲタ・ナラシ対策）で、小麦及びてん菜の交付金の減少となった年でもありません。

農作物全体では、平年作と思われませんが、てん菜の糖分については、基準糖分を下回る異常な数値となりました。

今後は、小麦乾燥施設の老朽化に伴い、生産者と時間をかけ、色々な改善策を協議しながら対応して参りたいと考えています。

コントラ事業は、部会が中心となり組合員皆様方のご協力とご理解を頂いたことと、機械の導入等により作業体制がほぼ確立したことで、大きな問題もなくスムーズに作業が進み大きな事故もなく無事に作業を終えることができました。

哺育センターは、導入計画の8割程度の利用率となっておりますが、哺育センターの利点を説明しながら計画的な事業運営をして参ります。また、預託が終わり生乳生産する時期となり、問題点もあることから関係機関と協議しながら対応し、安心して預託できる体制を整えて参ります。

バイオマス事業は、令和7年度操業に向け現在建設中です。建設費の高騰、今後の経費増により収支を再検討しながら進めているところですので。この事業は、今後の家畜排泄物の対応を考え、副産物である電力の販売と消化液の利用により高騰する肥料コスト削減等を目的としています。

昨年度樹立した第5次「農業振興計画」「JA中期計画」の令和5年度の振り返りを役員で精査し、令和6年度事業に向け対応して参ります。また、お忙しい中、組合員様には一斉訪問に対応して頂き感謝申し上げます。

㈱Aコープゆうべつにおいて、今年度も人員確保ができず、ゆうべつ店の日曜日の休業、及び営業時間の短縮等で利用者の皆様へご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。今後、人員確保し体制を整えて参り、地域の皆様方に親しまれる店舗を目指しますので変わらぬご利用をよろしく願います。

本年度は辰（竜）年です。辰は、架空の動物であり、天候など自然を支配する「巨大な力」を持つとされていることから、辰年は、時代を

動かす「改革（転機）」。「激動」との年とも呼ばれていますので、農業情勢はまだまだ先が不透明な時代ではあります。改革を起こすように組合員様と農協が常に協力し合える年になるようにと思います。

皆様におかれましては、家族の安全と健康を常に意識しながら良しお年を過ごして下さい。

本年が豊穰の年となりますようご祈念申し上げます。



畑作生産部会

部 会 長 井上 豊  
副 部 会 長 佐藤 輝美  
副 部 会 長 友澤 直樹

湧別町麦生産組合

組 合 長 渡辺 豊  
副 組 合 長 栗田 淳  
副 組 合 長 北谷 昭一

コントラ事業推進部会

部 会 長 小野 信一  
副 部 会 長 竹中 享司  
副 部 会 長 本間 義輝

湧別町ホルスタイン改良同志会

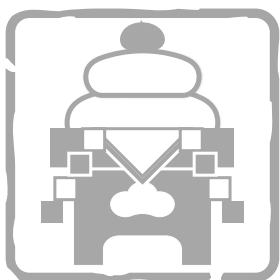
会 長 菅井 慎也  
副 会 長 上田 和成

湧別町酪農ヘルパー利用組合

組 合 長 山崎 伸司  
副 組 合 長 竹中 享司

湧別町乳牛検定組合

組 合 長 佐々木良介  
副 組 合 長 畑 亮一



令和6年

# 年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 樽井 功



新年あけましておめでとうござ  
います。

組合員の皆様におかれましては、  
日々営農に更に邁進されておられ  
ることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先は天候に恵まれ地域によって降雹被害や竜巻の被害が見られたものの、概ね、平年並みに推移しております。しかしながら夏場は猛暑による記録的な高温多湿の

影響を大きく受け、各作物の生育自体は、全般的に平年よりも早く進んできましたが、各作物等の収量および品質の低下が顕著となる残念な年でした。

新型コロナウイルス感染症の位置付けは昨年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっております。

さらにこれらの影響を受け、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっております。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっております。

現在、日本の食料自給率は38%しかありません。

これは、世界の先進国の中で最低の水準であり、6割以上の食糧物を輸入に頼っているのが日本の

現状です。

食料安全保障の強化が国家の喫緊の課題であることから、我が国の食料供給基地である北海道農業が果たしてきた役割、そして北海道農業への期待は、今後ますます大きくなるものと考えております。

J Aグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいく必要があり、行政や全国連とも連携し、しっかりとその対応を図って参ります。

今年、第31回J A北海道大会が開催されます。

また、第30回J A北海道大会の実践最終年度であり、決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の成果をしっかりと検証し、次のJ A北海道大会に繋げていく必要があります。

このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、

相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越えることが重要となります。

消費者の皆様に対しては、今まで以上に農業・食に対する理解を求めため、J Aグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させ、より効果的な情報発信を行い、J Aグループが提唱する「国産国産」の認知を広めて参りましょう。

結びになります。本年は辰年です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になつて大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



# 新しい年を迎えて

網走農業改良普及センター

遠軽支所支所長 花岡 伸光



新年明けましておめでとございます。令和6年の新春を迎えるにあたり、謹んでお喜び申し上げます。

農業者、関係機関の皆様には平素より農業改良普及事業の推進に對しまして、深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。さて、昨年の気象経過を振り返りますと、3月の気温が高く推移したことから、融雪期は平年より早まりました。以降、気温は平年より低い時期はわずかで、一般的に高く推移し、4月から10月までの積算気温および積算日照時間は平年を上回りました。降水量は5月を除いて、周期的に降雨があったことで4月から10月までの積算降水量は平年を上回りました。

湧別町の農作物の作況を振り返りますと秋まき小麦は、起生期から出穂期までの生育は順調で、平年よりやや早く推移しました。7月は気温が高く推移し成熟期は早まりました。収穫作業は平年より早く始まり早く終了しました。子実収量は平年を上回る結果となりました。赤かび病の発生は平年並み、赤さび病の発生はやや少ない状況でした。

てんさいの移植、直播栽培のは種作業は順調に進み、出芽は良好でした。5月の降水量が少なく生育は停滞したものの、その後の好天と周期的な降雨により、根部肥大は進みました。収穫作業は平年並みに始まり、順調に進んだため、平年より早く終了しました。収量は平年より多かつたものの、糖分は平年を下回る結果となりました。飼料用とうもろこしは、は種作業は順調に進み、は種後から7月まで気温が高く、適度な降雨があったことで生育は旺盛でした。7月以降も高温で推移したことで乳熟期、糊熟期、黄熟期ともに平年より10日以上早まりました。収穫作業は平年よりも早く終了しました。生収量、TDN収量ともに平

年を上回る結果となりました。

牧草（一番草）の生育は融雪が早かつたことで萌芽が早まりましたが、5月の降水量が少なく生育は緩慢となりました。その後の好天と周期的な降雨により、生育は旺盛となりました。収穫作業は出穂と同時に始まり、平年より早く終了しました。収量は一番草、二番草ともに平年並みの収量を確保できました。

今年新型コロナウイルス感染症が5類に移行したものの落ち着きは見られず、ロシアによるウクライナ侵攻の影響も続いており、肥料や飼料の価格高騰・品不足、光熱費の上昇、個体販売価格の低迷、さらに円安による物価の値上げも止みません。また、てんさい糖の国内産糖交付金の削減、見通しが立たない生乳生産動向など、厳しい経営環境が当面続く状況にあります。

今後、農業経営を継続して行くにあたって、土壌分析による施肥改善、堆肥・尿の有効活用、輪作体系の見直し、乳質・乳成分の向上、良質自給飼料の確保、気象変動に応じた栽培管理や家畜管理など、基本的な技術の確認と改善に

より、経費の節減と所得を確保していくことが重要です。

普及センターとしても農業者や関係機関の皆様と連携し、経営の安定と地域農業振興に向けた取り組みを積極的に進めて参ります。最後になりますが、本年の豊稔の秋とご家族の皆様のご健勝を祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



# てん菜の出荷作業終了

今年度のてん菜出荷作業は10月中旬から開始し11月下旬にすべてのてん菜の出荷が完了しました。今年度のてん菜は、気候が高湿・多湿と安定せず、収穫が心配でしたが、収量としまして6, 13 3kg/反で昨年度と同水準です。糖度については13.6度で平年より下回る結果となっております。



▼収穫・出荷の様子▼

# 湧別・芭露地区宮農懇談会開催

11月27日は湧別町農協芭露支所28日は本所において、令和5年度事業における経過報告及び令和6年度事業計画方針や宮農方針を議題とした宮農懇談会が開催されました。報告事項としては、生乳の生産状況、小麦・南瓜等の農産物の生産状況、牧野事業の実績報告を行いました。



▲芭露地区の様子



▲湧別地区の様子

# 宮農計画協議開始

12月6日から20日まで湧別町農協本所及び芭露支所にて、令和6年度宮農計画書を作成しました。宮農計画協議は組合員の皆様で作成した宮農計画書をもとに、職員が経営分析し、本年の収支に反映・改善を目的として行われています。一年間の宮農に向け、各担当職員と真剣な面持ちで協議が行われました。皆様方が計画を上回る年を迎えることができますよう、御祈願いたします。



▲協議の様子

協議事項としては、令和6年度の宮農方針と宮農計画書の作成について説明を行い、組合員から出された意見を集約し、今後の事業に反映して参ります。今年度はワミカン精算協議を12月6日から20日までの日程を行う予定です。組合員の皆様にはご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。

# もつといい明日へ超えてく！ 「パルゆめつなごう展」にて湧別産冷凍かぼちゃをPR

湧別町農協畑作部会は、えびす  
南瓜取引先のマルハニチロ株式会社  
の提案により11月24～25日にか  
けて上京し、日本生活協同組合連  
合会本社（以下、日生協）および  
パルシステム事業本部を訪問しま  
した。

コロナ禍以降の消費動向として  
冷凍野菜の需要が高まっており、  
特に湧別産の南瓜を使用した冷凍  
食品は安定した美味しさにより消  
費者の評価が高いとのことでした。  
日生協では9月下旬の南瓜収穫  
体験に当組合を訪れたこともあり、  
その様子をブログで紹介いただい  
ています。

パルシステム神奈川のイベント  
「パルゆめつなごう展」は、横浜  
みなとみらい地区の大ホールに50  
社以上の取引先と消費者が一堂に  
集まる見本市であり、マルハニチ  
ロの展示ブースにて湧別の南瓜を  
飾り、試食を提供しながらの情報  
交換となりました。  
パルシステムの冷凍野菜の中で

も湧別産栗かぼちゃは特に人気が  
あるようで、家族連れで訪れた台  
所担当の奥様方からは「美味しい  
南瓜をいつもありがとうございます！  
すー」と喜びの声を沢山いただき  
ました。

生産現場では、南瓜耕作者の高  
齢化に伴い作付面積が年々減少傾  
向にあります。今回の展示会を  
きっかけに畑作部会として「もつ  
といい明日へ超えてく！」ために  
何をすべきか役員含めて検討す  
る必要があります。



▲日生協ブログ QRコード  
ぜひご覧ください！！



湧別産南瓜をPRする井上豊さんと北谷昭一さん



▲記念品贈呈の様子

## 感謝を込めて 80歳記念品贈呈

11月25日、上田組合長と小幡参  
事は、これまで湧別町の農業振興  
と発展にご尽力いただいた、満80  
歳（昭和18年生まれ）の方々に感  
謝の気持ちを込めて個別に訪問し  
記念品の贈呈を行いました。

記念品の贈呈者は次の通りです。

岳上 啓子様

（大地地区農事組合）

佐藤 英一様

（西芭露農事組合）



畜産

乾乳期管理について

期間対象生後1週間前後の子牛について免疫グロブリン量の指標となる血清総タンパク量(TP)測定値を夏と冬で比較してみました(表1)。

TPが低く免疫グロブリン量が少ない子牛の割合は冬の方が多く、夏よりも免疫獲得のために多くの初乳を必要としています。

冬に丈夫な子牛を産ませるためにも、乾乳期間の管理を今一度見直してみましょう。

初乳の吸収率を低下させる母牛側の要因は、暑熱ストレス、栄養不足、初産、周産期疾病などです(表2)。

母牛の栄養不足によって周産期病の発生や虚弱子牛の分娩などに繋がる恐れがあります。周産期疾病の主要な発生要因は、分娩後に乳量の増加に見合った飼料摂取量が得られず、負のエネルギーバランス状態になることです。特に過肥の牛では分娩前に摂取量が低下しやすく、負

表1 血清タンパク量(TP)測定値の分布(普及センター調べ)

	TP (g/dl)			測定数
	~5.0	~5.5	5.6~	
6~8月	31%	18%	51%	n=290
12~2月	42%	11%	47%	n=244
免疫指標	不十分	ほぼ十分	十分	

表2 初乳の吸収率を低下させる要因

母牛側の要因	子牛側の要因
暑熱ストレス	摂取量
栄養不足	摂取の出生後時間
初産	難産
周産期疾病	寒冷ストレス
	初産産子

(「家畜診療」70巻 6号 2023年6月)

そのため、乾乳期間には「太らせない」かつ「飼料摂取量を減らさない」ことがポイントです。

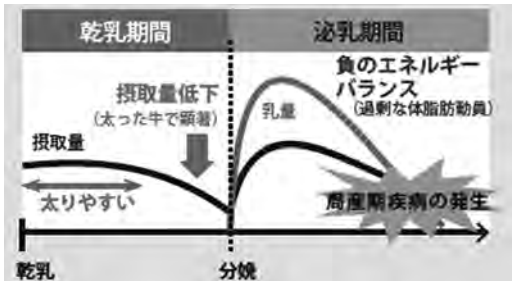


図1 周産期疾病発生のイメージ

のエネルギーバランス状態になったときに大量の体脂肪が動員されるため、周産期疾病や子牛の下痢リスクが高まります(図1)。

~前期Point~

- ・過肥を防ぐため品質の良い粗飼料主体のエサを給与
- ・TDN充足率は90%から100%を確保 \*体重700kgなら13kg
- ・濃厚飼料は1~2kgを給与、給与する資料の栄養分とBCSを見て調整
- ・Caは補給(タンカルで50~100g)

~後期Point~

- ・DMIが低下していくため、DMIは体重の1.7%を目安に嗜好性や品質の悪い資料の給与は避ける
- ・TDN充足率は100%~110%、CP+s区立は110%~120%が目標
- ・濃厚飼料は1日2kgから始め、1週間ごとに1kg増給(最大4~5kg)
- ・骨から乳腺へのCaの動員準備のため、Ca給与をやめる

以下の点に注意して飼料給与を行ってください。

適切な分娩環境

フリーバイン形式で1頭当たりの休息場所面積が13㎡以上、敷料(麦稈)の厚さが15cm以上です。休息場所とは敷料が十分に入っている場所であり、飼槽側の通路などは含みません。また、マットレスや3cm以上の床資材を併用する場合は、敷料の厚さは8cm以上が推奨値です。つなぎ飼形式(タイストール)



タイストール形式の構造



休息場所の定義

ル、スタンション)の場合は、牛床の大きさは2.3㎡以上、敷料を十分に敷き、乳牛の起き上がり動作が円滑に行える構造にしましょう。



# 遠軽厚生病院からのお知らせ

『皆さまから最も信頼され、選ばれる病院』を目指します



コウセイくん

JA北海道厚生連  
キャラクター

## マンモグラフィ装置 更新いたしました

2023年11月7日から最新装置での  
乳がん検診を開始いたしました。

最新装置の特徴は

- ① 圧迫による痛み軽減機能付
- ② 圧倒的に画質がきれい  
なことです。

**痛み軽減機能**とは、

一度強く圧迫して、  
その後に減圧して、  
痛みを軽減する機能です。

また、一緒に乳腺エコー検査を受けると  
発見率が上昇すると言われています。

当院の人間ドックと一緒に申込みいただくと  
1日で検査ができます。

最新装置での検診をぜひお試しください。

<ご予約、お問い合わせ>

遠軽厚生病院 健康推進課予約係  
Tel.0158-42-4101 内線2260

※人間ドックの予約はこちら→



### 人間ドックオプション料金

- ・マンモグラフィ 1 方向  
4,950円 (税込)
- ・マンモグラフィ 2 方向  
6,050円 (税込)
- ・乳腺エコー検査  
3,300円 (税込)  
※1日最大8名

お持ちの健康保険や町村の  
助成に該当する場合があります。

## ご契約の自動車が事故や故障に見舞われたときは

ご契約のJA(業務時間内)もしくは

**フリーダイヤル  
安心サービス**  
24時間・365日対応

事故等の場合には

JA共済事故受付センター

ジコはクミアイ  
**0120-258-931**

レッカー移動や  
故障時の応急対応が  
必要な場合には

JA共済サポートセンター

レッカーロードサービスはクミアイ  
**0120-063-931**

フリーダイヤル 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

電話料金は無料です。公衆電話につきましては、電話をおかけになる時の10円は必要ですが、かけ終わると戻ります。

## JA共済の安心サービス

### 1. レッカーサービス

現場から100km以内のけん引が無料！  
クレーン作業などの難作業も5万円(税込)まで  
JA共済が負担します。

事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄の修理工場等までお車をけん引します。横転、路外逸脱等による難作業も対応します。



### 2. ロードサービス

30分程度で対応可能な  
応急対応が無料！

故障・ガス欠等により自力走行不能となった場合に、修理業者が現場へ急行し、お車の応急修理を行います。



事前にJAまたはJA共済サポートセンター(JA共済事故受付センター)に要請された場合に本サービスの対象となります。(ご利用者さまの意思に反して、または物理的に不可能であった場合を除き、ご自身で工場等へ直接手配された場合は本サービスの対象外となります。)

※トラブルの状況や手配内容によっては、ご利用者さまに費用のご負担が発生する場合があります。

※ロードサービスについて、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用、部品代・オイル代・ガソリン代等の実費は、サービスご利用者さまのご負担になります。

※JAF会員であるご利用者さまについては、ご利用者さまのご了承のもと、JA共済事故受付センターまたはJA共済サポートセンターからJAFを手配する場合があります。その場合、レッカーサービスのけん引距離については現場から115キロまでのけん引に要する費用をサービス対象範囲とします。ロードサービスの作業時間については30分程度で対応可能な応急対応に要する費用に加え、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用について5,000円を限度にサービス対象範囲とします。

### 3. 夜間休日 現場急行サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。



※本サービスの受付時間は、平日:17時~23時、土日・祝日:8時~23時です。  
※事故現場からお電話いただき、ご利用者さまが現場急行をご希望された事故が対象となります。  
※原則として、対応員の出動地点から事故現場まで30分程度で到着できることが条件となります。ただし高速道路上等一部の場所は本サービスの対象外となります。  
※JA共済より業務委託を受けたALSOKの対応員が急行します。

### 4. 夜間休日 初期対応サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応(事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等)を行います。

※本サービスの受付時間は、平日:17時~21時(対応は22時まで)、土日・祝日:9時~21時(対応は22時まで)です。  
※対人賠償事故(人身傷害事故含む)、対物賠償事故、車両諸費用保障特約の付いた車両単独事故が対象となります。  
※ご契約内容が確認できない場合、既にご加入先のJAの損害調査スタッフが対応中である場合等、本サービスを実施できない場合があります。

### 5. 休日契約者 面談サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがご利用者さまを訪問し事故に関するご質問・ご相談に親身におこたえします。

※本サービスの受付時間は、金曜・祝前日:17時~0時、土曜:終日、日曜・祝日:0時~17時です。  
※対人賠償事故で、事故の相手方が入院または死亡された場合が対象となります。  
※JA共済より、業務委託を受けた休日面談専任のスタッフが対応します。

**24時間・365日、事故受付とアドバイス、各種サービスが受けられます。**

※各種サービス共通の注意事項(サービスのご利用にあたっては一定の条件があります。)

※交通事情、気象状況等により、サービス業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。

※本資料は各種サービスに関するすべての内容を記載しているものではありません。サービスのご利用条件・提供範囲など、詳細については「ご契約のしおり・約款」等をご参照ください。

18015228011